

動物霊園に見る **ペット葬祭最新事情**

**ペットも人間と同じ姿勢で供養を
多彩な葬祭プランを持つペットの葬儀業者**



(株)ジャパンペットセレモニー (藤本政光社長、東京都世田谷区)

長い年月、一緒に暮らしてきたペットは飼い主にとってもはや家族の一員と言えよう。しかし、ペットが亡くなっても会社は休まず、飼い主の多くのは仕事の後に火葬を行わなければならない。依頼者の自宅まで伺い、都合に合わせて対応する訪問火葬は忙しい飼い主にとって強い味方だ。利便性もさることながら、ジャパンペットセレモニーがペットオーナーから支持されている一番の理由は、飼い主の「最後のお世話をしたい」という思いやりを配慮する企業姿勢だ。

**幅広い営業エリアと
多彩な葬祭プラン**

ジャパンペットセレモニーは移動火葬車でペットの出張火葬サービスを中心に、葬儀や納骨などを行なうペットの葬儀業者だ。同社は人間の葬祭業に携わっていた藤本政光氏が2004年に開業、現在では東京都や神奈川県など関東以外、名古屋や福岡など8ヶ所に営業所を持ち、代理店が大阪や大分、千葉など7ヶ所にある。人の葬儀から火葬、納骨など一連の知識を持っている藤本氏は、そのノウハウを生かし寺院と提携、ペットの葬儀から納骨などができる環境を整えた。そのため、飼い主の自宅に火葬車と僧侶がお伺いし、読経後に火葬をする「自宅葬祭プラン」や、人間とはほぼ同様に、提携寺院の祭壇で読経したあとに火葬を行なう、「祭壇葬祭プラン」など、多様なペット葬儀を可能にしている。また、寺院と提携しているため、飼い主から要望があれば、遺骨を納骨堂や霊園に納めることも可能だ。さらに同社はペットオーナーのために、火葬前の安置や葬祭の方法など葬祭に関する様々なアドバイスを365日、24時間無料で行なってい

る。

**時間を問わず様々な生体を
火葬できる出張火葬サービス**

ジャパンペットセレモニーが提供している出張火葬サービスは、電話で依頼を受けると飼い主の自宅まで火葬炉を搭載した車で伺い、駐車場を借りて車内で火葬を行なう。万が一駐車場が使用できない場合は、寺院の境内など迷惑のかからない場所に移動して火葬する。出張火葬サービスのプランは、自宅まで遺体を引き取りに行き、火葬後は提携している寺院の合同供養塔に埋葬する「お引取り」と、火葬後スタッフが骨壺に骨を納めてペットオーナーに返す「一任個別火葬」、飼い主自身が立会いのもと拾骨し骨壺に納める「立会個別火葬」の3種類ある。価格は体重に応じて変化するが、「お引取り」の場合12,000円～57,000円で「一任個別火葬」は15,000円～60,000円、「立会個別火葬」の場合17,000円～62,000円だ。個別火葬の場合、火葬費用に骨壺と骨袋代が含まれている。

同社が提供する出張火葬サービスは、24時間365日対応しているため、夕方や夜でも火葬が可能だ。そのためペットが亡くなっても会社を休めないペットオーナーから、高い支持を受けている。現在では月に400件ほど火葬を行ない、その8割は犬や猫で小鳥や小動物は1割程度だ。なかにはリクガメや熱帯魚などの依頼を受けることもある。

300人以上が参加する合同慰霊祭

ジャパンペットセレモニーでは本格的な生花祭壇をもうけ、ペットの遺骨にお経と焼香をあげてペットを供養する「動物供養大祭」を、春と秋の年2回、一日3部に分けて開催している。慰霊祭には同社で火葬した飼い主だけでなく、他社で火葬したペットオーナーも遺骨を持参して参加できる。そのため参加者は東京だけでなく茨木のように遠い場所からも集まる。回数を重ねるごとに認知度も上がり、1回目は50人程度だったが現在では300人以上が参加している。年齢層は子供連れや年配の夫婦から、若いカップルなど様々だ。藤本社長は「ペットの場合、人とは異なり遺骨を手元に置く人が多い。そうした飼い主が遺骨を持って参加するが、1回だけでなく毎回参加してくれるペットオーナーもいる。そのような飼い主の方を見ると、慰霊祭を実施したかいいがあると思える」と話す。



3月29日、提携している寺院で「動物供養大祭」を実施



慰霊祭では立派な生花祭壇が設置され、僧侶が読経を行なった

株式会社 ジャパンペットセレモニー
東京都世田谷区上馬4-30-1
TEL : 03-5779-4195 FAX : 03-5779-4196
URL : <http://www.jp.pet.jp>